

福島工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	経済学演習Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0016			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	コミュニケーション情報学科 (H31年度開講分まで)			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	配付資料						
担当教員	芥川 一則						
到達目標							
①経済の基本的な用語が説明できる。 ②市場メカニズムの基本的な仕組みが説明できる。 ③家計行動の基本的な仕組みが説明できる。 ④企業の行動の基本的な仕組みが説明できる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	各授業項目の内容を理解し、応用できる。			各授業項目の内容を理解している。		各授業項目の内容を理解していない。	
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (B) 学習・教育到達度目標 (C) 学習・教育到達度目標 (D)							
教育方法等							
概要	社会の問題を経済学的視点から分析する能力を習得することを目的とする。このため経済用語と経済モデルの理解に力点を置いた授業を行い、日常生活における出来事を経済学的な視点から捉えられるようにする。						
授業の進め方・方法							
注意点	基本的な経済用語の復習に十分努めること。過去に学習した経済モデルを各自復習しておくこと。自学自習の確認方法：課題プリントを学生に配布し提出させる。 定期試験の成績を80%、課題を20%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	GDPとは何か		GDPと付加価値		
		2週	GDP決定のメカニズム		均衡GDPの決定、乗数の理論		
		3週	財政活動とGDP		財政と均衡GDPの決定		
		4週	IS曲線とは何か		生産物市場の均衡とIS曲線		
		5週	LM曲線とは何か		貨幣市場の均衡とLM曲線		
		6週	IS-LM分析の数値モデル		IS曲線とLM曲線		
		7週	中間試験、総合演習		確認テスト		
		8週	家計の行動(1)		効用と無差別曲線		
	2ndQ	9週	家計の行動(2)		効用と無差別曲線		
		10週	企業の行動(1)		企業の短期費用		
		11週	企業の行動(2)		企業の短期費用		
		12週	完全競争市場		完全競争市場の均衡		
		13週	不完全競争(1)		独占企業の最適行動		
		14週	不完全競争(2)		寡占モデル		
		15週	総合演習		専門用語の確認		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0